



破傷風について

破傷風は、外傷などから身体に侵入した破傷風菌が産生した毒素によっておこる感染症です。初期症状は、傷口や口、頸部に違和感があり、筋肉が痙攣したり口が開きにくくなるなどの症状が現れます。数日以内に全身の筋肉が痙攣をおこし、呼吸が困難となり、重症の場合は死に至ることがあります。

流行状況は？

破傷風菌は、全世界（もちろんわが国でも）の土壌の中に分布していますが、海外でのけが、交通事故などで感染をうける危険性が高まります。犠牲者の多くは発展途上国の、とくに小児に発生しています。世界で年間約100万人が死亡しているといわれています。

予防方法は？

20歳前後までの人は小児期の定期接種で充分感染防御免疫がありますが、特に40歳以上で海外、特に発展途上国に旅行あるいは赴任される場合は破傷風の予防接種を勧めます（40歳以上の方は小児期に予防接種が行われていないため）。接種方法は3～4週間隔で2回接種し、1年後に3回目の接種を行います。3回接種後5年間は効果が持続します。ご自身の母子手帳などを参考にこれまでの接種記録を確認されてみて下さい。

欧米へ留学される場合は、10年毎の追加接種を要求される場合もあります。

